

令和5年度英語コミュニケーションⅠ シラバス

科目	英語コミュニケーションⅠ	単位	3	学年	1
----	--------------	----	---	----	---

1. 学習の到達目標等

(1) 學習到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養い、自分の意見を根拠に基づいて言えるための下地作りをします。

特に、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能について学年末までに次のことができるようになることを目指します。

- 授業における英語による指示や、教科書と同じ語彙レベルのさまざまな英文や対話を聞いて、その概要や要点を理解することができる。
- 教科書と同じ語彙レベルのさまざまな内容の英文を読んで理解することができる。また聞き手に伝わるように教科書を音読することができる。
- 教科書で学んだ内容や自分の経験や知っていることについて、簡単な英語で話すことができる。
- 身近な出来事や自分の考えを、簡単な英文で相手に伝わるように書き、話すことができる。

(2) 使用教科書・副教材等

Power On English Communication I・教科書準拠ワークブック

2. 評価の観点及び内容

みなさんの学習状況は、以下の3つの観点から評価します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

3. 学習計画および評価方法等

学 期	学習項目	評価規準	聞くこと	読むこと	「やりとり」 話すこと	「発表」 話すこと	書くこと	配 当	評価方法
1 学 期	Lesson 1	<知識・技能>	◎	○	◎		◎	15	・ 作文課題 ・ 面接試験 ・ 期末テスト
		・ 日本の観光についての情報を聞き取り、情報や自分の考えを伝え合う技能を身につけている。 ・ 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞＋動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解している。							
		<思考・判断・表現>	◎	○	◎		◎		・ 作文課題 ・ 面接試験 ・ 期末テスト
		・ 日本の観光について理解し、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点を把握できる。 ・ 自分の住んでいる地域の魅力について、自分の考えを話して伝え合うことができる。							
		<主体的に学習に取り組む態度>	○	○	◎		◎		・ 作文課題 ・ 面接試験 ・ 課題提出 ・ 授業観察
・ 日本の観光について理解し、自分の住んでいる地域の魅力について、自分の考えを話して伝え合おうとしている。									
・ 作文課題（Lesson1） ・ 面接試験（Lesson1）									

学期	学習項目	評価規準	聞くこと	読むこと	話すこと 「やりとり」	話すこと 「発表」	書くこと	配当	評価方法	
1 学期	Lesson 2	<知識・技能>						15	・ポスター発表 ・期末テスト	
		・光る生き物についての情報を読み取り、情報や自分の考えなどを話して伝える技術を身につけている。 ・受け身、現在完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	◎		◎	◎			
		<思考・判断・表現>								・ポスター発表 ・期末テスト
		・光る生き物について理解し、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を把握できる。 ・光る生き物について情報を整理し、自分の考えを理由と共に話したり書いたりして伝えることができる。	○	◎		◎	◎			
		<主体的に学習に取り組む態度>								
	・光る生き物やその光の医療研究利用について理解し、光る生き物についての情報や自分の考えを理由と共に書いて伝えようとしている。	○	◎		◎	◎				
・期末テスト (Lesson1, 2)										
・ポスター発表 (Lesson2)										
2 学期	Lesson 4	<知識・技能>						15	・面接試験	
		・日本や海外のマンガについての情報を理解し、情報や自分の考えを伝え合う技能を身につけている。 ・現在分詞・過去分詞、比較級・最上級について理解し、これらを適切に使用するための技能を身につけている。	○	◎	◎					
		<思考・判断・表現>								・面接試験 ・課題提出 ・授業観察
		・日本や海外のマンガの形式や翻訳について、書き手の意図、概要を理解できる。 ・理解した内容を踏まえ、自分の考えを話したり書いたりして伝えあうことができる。	○	◎	◎					
		<主体的に学習に取り組む態度>								
	・日本や海外のマンガの形式について理解し、情報や自分の考えを書いて伝えようとしている。	○	◎	◎						
	・面接試験 (Lesson4)									
	Lesson 3	<知識・技能>							15	・プレゼンテーション ・期末テスト
		・好きなスポーツ選手について、情報を聞き取り、情報や自分の考えを書いて伝える技能を身につけている。 ・動名詞・不定詞・SV0について理解し、これらを適切に使用するための技術を身につけている。	◎	○		◎	◎			
		<思考・判断・表現>								・プレゼンテーション ・期末テスト
・好きなスポーツ選手について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点を把握できる。 ・好きなスポール選手について自分の考えを話したり書いたりして伝えることができる。		◎	○		◎	◎				
<主体的に学習に取り組む態度>								・プレゼンテーション ・課題提出 ・授業観察		
・好きなスポーツ選手について、必要な情報や話し手の意図を捉えようとしたり、自分の考えなどを論理性に注意して話したりして伝えようとしている。	◎	○		◎	◎					

学 期	学習項目	評価規準	聞くこと	読むこと	話すこと 「やりとり」	話すこと 「発表」	書くこと	配 当	評価方法	
2 学 期	Lesson 5	<知識・技能>						15	・ 期末テスト	
		・ バナナペーパープロジェクトについて、情報を読み取り、情報や自分の考えなどを書いて伝える技術を身につけている。 ・ 関係代名詞・S+seem+to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○	◎	○		○			
		<思考・判断・表現>								・ 期末テスト
		・ バナナペーパープロジェクトについて、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点を把握できる。 ・ バナナペーパープロジェクトについて自分の考えを話したり書いたりして伝えることができる。	○	◎	○		○			
	<主体的に学習に取り組む態度>							・ 課題提出 ・ 授業観察		
・ バナナペーパープロジェクトについて理解し、自分の考えを話したり、書いたりして伝えようとしている。	○	◎	○		○					
・ 期末テスト (Lesson3, 5)										
・ プレゼンテーション (Lesson3, 4)										
3 学 期	Lesson 9	<知識・技能>						15	・ グループディスカッション ・ 学年末テスト	
		・ e スポーツの現状・利点や欠点について、情報を読み取り、情報や自分の考えなどを伝えあう技術を身につけている。 ・ SVOC, SVOO を用いた文の形・意味・用法を理解している。	◎	○	◎	◎	○			
		<思考・判断・表現>								・ グループディスカッション ・ 学年末テスト
		・ e スポーツの現状・利点や欠点について、書き手の意図、概要を理解できる。 ・ 理解した内容を踏まえ、自分の考えを話したり書いたりして伝えあうことができる。	◎	○	◎	◎	○			
	<主体的に学習に取り組む態度>							・ グループディスカッション ・ 課題提出 ・ 授業観察		
	・ e スポーツの現状、利点や欠点について必要な情報、概要や要点、話し手・書き手の意図を活用しながら自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	◎	◎	○				
	・ グループディスカッション									
	Lesson 10	<知識・技能>							15	・ 学年末テスト
・ 写真家ヨシダナギさんの雑誌記事を読んで、書き手の意図を把握したり、概要や要点を捉えたりする技能を身につけている。 ・ 仮定法を用いた文の形・意味・用法を理解し、適切に使用する技能を身につけている。		○	◎	○		○				
<思考・判断・表現>								・ 学年末テスト		
・ 写真家ヨシダナギさんの雑誌記事を読んで、書き手の意図を把握したり、概要や要点を捉えることができ、自分の感じたこと、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。		○	◎	○		○				
<主体的に学習に取り組む態度>							・ 課題提出 ・ 授業観察			
・ 写真家ヨシダナギさんの雑誌記事を読んで、主体的、自律的に理解しようとし、自分の感じたことを主体的に伝えようとしている。	○	◎	○		○					
・ 学年末テスト										

◎その単元において特に重点化して指導し、記録に残す事項

○その単元において指導する事項

令和5年度 英語コミュニケーションⅡ シラバス

学校名	豊見城高校	課程	全日	学科	普通科
科目	英語コミュニケーションⅡ	使用教科書	Power On English Communication Ⅱ		
		副教材	Power On English Communication Ⅱ WORKBOOK		

1. 学習の到達目標等

(1) 学習到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考え、気持ちなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養い、自分の意見を論理的に伝えるための土台作りをします。

特に、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能について学年末までに次のことができるようになることを目指します。

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、

- ☐ 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点を捉えたりすることができる。
- ☐ 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点を捉えたりすることができる。
- ☐ 情報や自分の考え、気持ちなどを話して伝え合うやりとりを続けたり、複数の文で話して伝え合ったりすることができる。
- ☐ 情報や自分の考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の文で話して伝えることができる。
- ☐ 情報や自分の考え、気持ちなどを論理性に注意して、複数の文で書くことができる。

(2) 使用教科書・副教材等

Power On English Communication Ⅱ・教科書準拠ワークブック

2. 評価の観点及び内容

みなさんの学習状況は、以下の3つの観点から評価します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

3. 学習計画および評価方法等

学期	学習項目	評価規準	聞く	読む	やりとり	発表	書く	配当	評価方法	
1 学期	Lesson 1	<知識・技能>								
		・日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、聞いたり読んだりした内容を、自分の言葉で話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 ・助動詞＋動詞の原形、受け身、S＋V [be動詞以外] ＋Cを用いた文の形・意味・用法を理解している。	◎	○			◎	○	17	リテリング 期末テスト
		<思考・判断・表現>								
		・日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりして把握し、その内容を整理し、自分の言葉で話したり書いたりして伝えることができる。	◎	○			◎	○		リテリング 期末テスト
		<主体的に学習に取り組む態度>								
		・日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりして把握し、その内容を整理し、自分の言葉で話したり書いたりして伝えようとしている。	◎	○			◎	○		リテリング 提出課題 授業観察
	・リテリング(Lesson1)									
	Lesson 2	<知識・技能>								
		ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、必要な情報、話し手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話して伝える技能を身に付けている。	○	◎			◎	○	17	Show&Tell 期末テスト
		<思考・判断・表現>								
ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを詳しく話して伝えている。		○	◎			◎	○		Show&Tell 期末テスト	
	<主体的に学習に取り組む態度>									
	ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを詳しく話して伝えようとしている。	○	◎			◎	○		Show&Tell 課題提出 授業観察	
・スピーチ発表(Lesson2)										
Lesson 3	<知識・技能>									
	・現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif節などの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	◎	○			◎	○	17	インタビュー テスト 期末テスト	
	<思考・判断・表現>									
	・ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることができる。	◎	○			◎	○		インタビュー テスト 期末テスト	
	<主体的に学習に取り組む態度>									
	・ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	◎	○			◎	○		インタビュー テスト 課題提出 授業観察	
・インタビューテスト(Lesson3) ・期末テスト (Lesson 1,2,3)										

学期	学習項目	評価規準	聞く	読む	やりとり	発表	書く	配当	評価方法
2 学 期	Lesson 4	<知識・技能> ・関係代名詞（主格）、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞（目的格）を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・日本と海外の自動販売機について、関係代名詞（主格）、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞（目的格）などの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、海外のユニークな自動販売機について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	○	◎	○		○	18	ポスター作製 期末テスト
		<思考・判断・表現> ・日本と海外の自動販売機について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	○	◎	○		○		ポスター作製 期末テスト
		<主体的に学習に取り組む態度> ・日本と海外の自動販売機について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	○	◎	○		○		ポスター作製 課題提出 授業観察
	・ポスター作製(Lesson4)								
Lesson 5	<知識・技能> ・助動詞＋受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節] , It seems [appears] +that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、助動詞＋受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節] ,It seems [appears] +that 節などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ブレイルノイエの利点と活用方法について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	○	◎	○		◎	18	ライティング テスト (意見文) 学年末テスト	
	<思考・判断・表現> ・ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。	○	◎	○		◎		ライティング テスト (意見文) 学年末テスト	
	<主体的に学習に取り組む態度> ・ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	○	◎	○		◎		ライティング テスト (意見文) 課題提出 授業観察	
・ライティングテスト(Lesson5)									

学期	学習項目	評価規準	聞く	読む	やりとり	発表	書く	配当	評価方法
3 学 期	Lesson 10	<知識・技能> ・過去完了進行形や be+to 不定詞、 未来完了形などの形・意味・用法を理解している。 ・ロボットやロボットの労働内容の変化について、概要や 要点、詳細を目的に応じて捉えたり、自分が考案した生活 に役立つロボットの形状や機能などについて、情報や自分 の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりし て伝える技能を身に付けている。		◎	◎	○	○	17	グループディス カッション
		<思考・判断・表現> ・ロボットやロボットの労働内容の変化について、必要な情報 や概要、要点、詳細を捉えたり、自分が考案した生活に役立つ ロボットの形状や機能などについて、情報や自分の考えなどを 論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えることがで きる。		◎	◎	○	○		グループディス カッション
		<主体的に学習に取り組む態度> ・ロボットやロボットの労働内容の変化について、必要な情 報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳 細を捉えたり、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や 機能などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して 詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。		◎	◎	○	○		グループディス カッション 課題提出 授業観察
	・グループディスカッション ・学年末テスト(Lesson10)								

◎その単元において特に重点化して指導し、記録に残す事項

○その単元において指導する事項

令和5年度 コミュニケーション英語Ⅲ シラバス

科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位	4	学年	3	
使用教科書	(コⅢ341) New Flag English Communication Ⅲ (増進堂)			副教材等	New Flag English Communication3Ⅲ Workbook	

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解する能力を伸ばし、自分の意見を根拠に基づいて発信できる素地を養う。 具体的言語活動は次の通り。 ア. 外国語に興味を持って積極的にグループやペア活動に参加し、テーマに沿った課題も自らの力で取り組む。 イ. 英文構造を理解し、目的に応じて速読したり精読したりする。また、聞き手に伝わるように音読や発表を行う。 ウ. 教科書で学んだ情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 エ. 聞いたり読んだりしたことに基づき、まとまりのある文章を書く。
---------	---

ルーブリック			
	S レベル：理想的な到達レベル	A レベル：標準的到達レベル	B レベル：未到達レベル目安
評価項目 ア	授業に主体的に参加し、仲間との協同学習や自ら課題学習を通して深い学びが来ている。	授業に積極的に参加し、仲間との協同学習や課題学習が来ている。	授業への積極性に欠け、仲間との協同学習や課題学習ができない。
評価項目 イ	複雑な英文構造を把握し、意味を正確に理解でき、運用できる。	複雑な英文構造を把握し、意味が理解できる。	複雑な英文構造を把握できず、意味も理解できない。
評価項目 ウ	教科書で学んだことを話し合うなどして自分なりの結論をまとめることが出来る。	教科書で学んだことを話し合うなどして結論をまとめることが出来る。	教科書で学んだことを話し合うなどして結論をまとめることが出来ない。
評価項目 エ	聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や自らの考えについてまとまりのある英文を書くことが出来る。	聞いたり読んだりしたことに基づき、まとまりのある英文をある程度書くことが出来る。	聞いたり読んだりしたことに基づき、まとまりのある英文を書くことが出来ない。

評価の観点			
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

		学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
1 学期	4 月	オリエンテーション	「コミュニケーション英語Ⅲ」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法などについて説明する。					
		Section1 Skill1	<ねらい> 意味のまとまり」／ごとに、英語の語順にしたがって読む Phrase Reading ができるようになる。		○	○		・授業での取り組みや課題の提出状況
		Section1 Skill2	<ねらい> 文と文のつながりに注意しながら、代名詞や語句の言い換えを理解し、内容を正確につかむ。			○	○	・授業での取り組みや課題の提出状況
		Section1 Skill3	<ねらい> タイトルや写真、挿絵、つなぎことばなどを手掛かりに、内容を推測したり、話の展開を予測しながら読み進める。	○		○		・授業での取り組みや課題の提出状況
		Section1 Skill4	<ねらい> 主題文と支持文、まとめ文がどれであるか把握し、パラグラフ構成を意識して読む。	○		○		・授業での取り組みや課題の提出状況
		Section1 Skill5	<ねらい> 時間や順序の流れを示すディスコースマーカー（つなぎことば）の働きに注目してパラグラフをつかむ。		○	○		・授業での取り組みや課題の提出状況

			学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
5月			Section1 Skill6	<ねらい> 例示・列挙・新情報の追加などのディスコースマーカーを意識して英文を読む。			○	○	・授業での取り組みや課題の提出状況
			Section1 Skill7	<ねらい> 逆説や対比のディスコースマーカーに注目して、論点を明らかにしながら読み進める。	○		○		・授業での取り組みや課題の提出状況
			Section1 Skill 8	<ねらい> 文・節・句の「原因」・「理由」・「結果」を導くディスコースマーカーを理解して英文を読む。		○	○		・授業での取り組みや課題の提出状況
			Section1 Skill 9	<ねらい> 言い換えや要約・結論を導くディスコースマーカーを意識しながら英文を読み解く。	○		○		・授業での取り組みや課題の提出状況
			Section1 Skill10	<ねらい> トピック・センテンスとキーワードを中心に拾い読みするスキミング。図表やチャシ、グラフから情報を読み取るスキニングの技術を使って英文を読む。			○	○	
6月		1学期期末 考査	Chapter 1 (日常) Steve and Ryoma	<題材内容とねらい> ・Innovator としての Steve Jobs についてその生き方から彼の信念を読み取る。 ・Innovator としての坂本龍馬の人生を、彼の短歌や夢を通して読み取らせる。 <言語材料> 自分が尊敬する人、興味ある innovator について表現する。			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Chapter 2 (自然) Uluru, Not Ayers Rock	<題材内容とねらい> ・Uluru の紹介と 1920 年代までの Uluru の歴史を読み取らせる。 ・Uluru とその周辺地域の環境問題とそれに対する対策を読み取らせる。 <言語材料> グループで Uluru が抱えている問題について、3 つの役割の 1 つを演じ、問題の解決法を見つけさせる。			○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Chapter3 (社会) Community Design	<題材内容とねらい> ・コミュニティデザイナーの山崎氏と家島の人々との出会いについて知る。 ・家島の人々とプロジェクトメンバーとの、家島の魅力に対する視点の違いを読み取らせる。 ・山崎氏のプロジェクトにより、活性化した家島と人々の変化を理解する。 <言語材料> 「コミュニティデザイン」を通して、地域の活性化がどのようなされるかを知り、ゆるキャラの役割について述べる事が出来る。			○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			単語をつくる色々な要素：接頭辞 1	<言語材料> 単語をつくる色々な要素：接頭辞 1 re-再び, pro-前に, ex-外に, on-共に			○		・理解度チェック
7月									

			学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
2 学 期	9 月		Chapter 4 (文化) The Life of Murasaki Shikibu	<題材内容とねらい> ・紫式部の子供の頃、結婚してから、空挺での生活について知る。 ・なぜ「光源氏」を紫式部が書いたのか、その背景について知る。 <言語材料> ・紫式部や源氏物語のような日本文化を英文で読み、要点を英語で発表し、生徒同士でも評価しあう。	○	○		○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Chapter 5 (産業) Microfinance	<題材内容とねらい> ・少額ローン、預金、保険で貧困から逃れる支援をするマイクロファイナンスについて知る。 ・マイクロファイナンスの地域社会に対する貢献と個人へのサービスについて理解させる。 <言語材料> マイクロファイナンスについての考え方を学び、個人だけでなく地域社会にどのように貢献しているのかについて考える。		○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Chapter 6 (文化) The Plain People	<題材内容とねらい> ・伝統的なアーミッシュの生活様式について学ばせる。 ・アーミッシュの人々の考え方と生き方について読み取らせる。 <言語材料> アーミッシュの文化についてその長所と短所や、日本の教育システムとの比較を考える。	○	○		○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Chapter 7 (科学) The Air Powered Car	<題材内容とねらい> ・未来の車：エアカーについてその特徴を読む。 ・エアカーの魅力と燃費について読み取らせる。 ・過去の創造が未来の現実を作る可能性について読み取る。 <言語材料> 空気で動く自動車について知り、その情報をまとめて英語のコマーシャルを考える。		○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	10 月								
2 学 期 期 末 考 査	11 月		Chapter 8 (文化) Are Children the Best Learners?	<題材内容とねらい> ・子供と大人の言語学習の違いと、大人の新しい言語学習についての可能性について知る。 ・年齢の違うグループがどのように学ぶかの実験とその結果を把握する。 <言語材料> It is ~that・・・「・・・は～である」の文や Seem to～		○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Chapter 9 (科学) Printing the Future	<題材内容とねらい> ・3D プリンターが我々の生活にどのような影響を与えるか、その可能性について知る。 ・3D プリンターを使用することの長所と短所を知る。 <言語材料> 3D プリンティング技術の可能性について知り、自分なら何を作りたいかを理由を挙げて述べる。	○	○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題

			学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
3 学 期	12 月		Chapter 10 (自然) Seed Balls	<題材内容とねらい> ・シードボールの概念を紹介した人々について。 ・どのようにして NPO がアフリカの緑化活動に携わることになったのかその背景をしる。 ・ケニアにおける砂漠化の問題と、シードボールをまいたことによる環境の変化について知る。 <言語材料> ・関係副詞 Where を用いて、場所の説明が出来るようになる。			○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Chapter 11 (日常) Creativity	<題材内容とねらい> ・有名な心理テストについて読み自らも考えてみる。 ・人が思考の枠を超えて想像力を発揮するのに必要なのは純粋な興味（動機づけ）か報酬なのかについての文を読み解く。 <言語材料> ・Topic→Support→Conclusion という典型的な英文の構造を意識し、要約文をまとめてみる。			○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	1 月	学 年 末 考 査	Chapter 12 (日常) Spark Joy	<題材内容とねらい> ・試験前のようにプレッシャーがかかる状況で、なぜ人は部屋の片づけをしたい衝動的にかられるか。 ・片づけの秘訣をたくさん学んだ筆者が、いつも探していたものは何かを知る。 ・筆者はどの様なものを捨てずに取っておくべきだと言っているのか。 <言語材料> ・自分が大事に捨てずに持っているものについて述べ、その理由をグループのメンバーと共有する。			○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Chapter 13 (文化) Mutual Understanding of Different Culture	<題材内容とねらい> ・パーティーの場で上司や同僚にしたあいさつがどのような誤解を引き起こしたかを読む。 ・異文化による誤解の研究の内容について知る。 ・日本人にとって自然な言い回しも、異文化ではその言い方に接したときの感じ方の違うことを知る。 <言語材料> ・仮定法過去完了を使って、過去の事実と反する表現を学び、自分の体験したことに関して伝えられるようにする。			○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	2 月					○	○		○
	各学期の評価方法			<評価の対象> ①学年末考査の成績，②各課のねらいに沿った Skill Check ③授業への取り組みの様子，④課題の提出状況と解答内容，⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。					
学年の評価方法				①コミュニケーションへの関心・意欲・態度，②外国語表現の能力，③外国語理解の能力，④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して，年間の評価とする。					

令和5年度 基礎英語 シラバス

科目名	単位数	対象クラス
基礎英語	2単位	3年 普通クラスの選択

1 学習の到達目標等

(1) 学習到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。

特に、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能について学年末までに次のことができるようになることを目指します。

- ☐ 授業における英語での問いかけや、様々な英文や対話、討論などを聞いて、その概要や要点を理解することができる。
- ☐ 目的に応じて速読したり精読したりして理解することができる。また聞き手に伝わるように音読、暗唱することができる。
- ☐ 参考書で学んだ内容や自分の知識・経験に基づき、英語で話し合ったり意見をまとめたりすることができる。
- ☐ 参考書で学んだ内容や自分の経験・考えを、まとまりのある英文で読み手に伝わるように書くことができる。

(2) 使用教科書・教材

参考書：「Step by Step 1 (4 skills)」(三省堂)
「Active Listening 1」(第一学習社)

2 評価の観点、内容及び評価方法

(1) 学習状況は、以下の4つの観点から評価します。

観 点	内 容	評価方法
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション図ろうとしているか。	・ワークシート ・参加状況や態度 ・発表
外国語表現の能力 (話す・書く・音読する)	日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、聞いたりして表現することができるか。	・ワークシート ・コミュニケーションテスト ・定期考査(ライティング)
理解の能力 (聞く・読む)	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手に伝えようとすることを理解することができるか。	・ワークシート ・レッスンテスト ・定期考査
言語や文化についての 知識・理解	日常的な話題についての英語学習を通して、言語についてその知識を身に付けると共に、その背景にある文化などを理解しているか。	・ワークシート ・コミュニケーションテスト ・定期考査の表現問題

(2) 評価方法

- 各学期毎の定期考査
- パフォーマンステスト(インタビューテスト、プレゼンテーションテスト、ライティングテスト)
- 課題、授業参加態度

3. 学習計画

学期	月	指導内容	配当時間	備考
1学期	4月	Unit 1	26	※ Active Listening Lesson 1～7 を合間に組み入れる。
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
	5月	3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
		4 Writing		
		5 Speaking		
	6月	Unit 2		
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	7月	4 Writing		
		5 Speaking		
2学期	9月	Unit 3	28	※ Active Listening Lesson 8 ～15 を合間に組み入れる。
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
	10月	3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
		4 Writing		
		5 Speaking		
		Unit 4		
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	11月	4 Writing		
		5 Speaking		
		Unit 5		
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	12月	4 Writing		
		5 Speaking		
3学期	1月	Unit 6	16	※ Active Listening Lesson16～20 を合間に組み入れる。
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	2月	まとめ、復習		
年間総時数			70	

令和5年度 応用英語 シラバス

科目名	単位数	対象クラス
応用英語	2単位	2年 特進・選抜文系

1 学習の到達目標等

(1) 学習到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。

特に、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能について学年末までに次のことができるようになることを目指します。

- ☐ 授業における英語での問いかけや、様々な英文や対話、討論などを聞いて、その概要や要点を理解することができる。
- ☐ 目的に応じて速読したり精読したりして理解することができる。また聞き手に伝わるように音読、暗唱することができる。
- ☐ 参考書で学んだ内容や自分の知識・経験に基づき、英語で話し合ったり意見をまとめたりすることができる。
- ☐ 参考書で学んだ内容や自分の経験・考えを、まとまりのある英文で読み手に伝わるように書くことができる。

(2) 使用教科書・教材

参考書：「Step by Step 1 (4 skills)」(三省堂)
「Active Listening 1」(第一学習社)

2 評価の観点、内容及び評価方法

(1) 学習状況は、以下の3つの観点から評価します。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な学習態度
評価 規準	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	・コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 評価方法

- 各学期毎の定期考査
- パフォーマンステスト(インタビューテスト、プレゼンテーションテスト、ライティングテスト)
- 課題、授業参加態度

3. 学習計画

学期	月	指導内容	配当時間	備考
1 学期	4 月	Unit 1	26	※ Active Listening Lesson 1～7 を合間に組み入れる。
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
	5 月	3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
		4 Writing		
		5 Speaking		
	6 月	Unit 2		
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	7 月	4 Writing		
		5 Speaking		
2 学期	9 月	Unit 3	28	※ Active Listening Lesson 8 ～15 を合間に組み入れる。
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
	10 月	3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
		4 Writing		
		5 Speaking		
		Unit 4		
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	11 月	4 Writing		
		5 Speaking		
		Unit 5		
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	12 月	4 Writing		
		5 Speaking		
3 学期	1 月	Unit 6	16	※ Active Listening Lesson16～20 を合間に組み入れる。
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	2 月	4 Writing		
		5 Speaking		
	3 月	まとめ、復習		
年間総時数			70	

令和5年度 応用英語 シラバス

科目名	単位数	対象クラス
応用英語	2単位	3年 特進・選抜文系

1 学習の到達目標等

(1) 学習到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。

特に、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能について学年末までに次のことができるようになることを目指します。

- ☐ 授業における英語での問いかけや、様々な英文や対話、討論などを聞いて、その概要や要点を理解することができる。
- ☐ 目的に応じて速読したり精読したりして理解することができる。また聞き手に伝わるように音読、暗唱することができる。
- ☐ 参考書で学んだ内容や自分の知識・経験に基づき、英語で話し合ったり意見をまとめたりすることができる。
- ☐ 参考書で学んだ内容や自分の経験・考えを、まとまりのある英文で読み手に伝わるように書くことができる。

(2) 使用教科書・教材

参考書：「Step by Step 2 (4 skills)」(三省堂)
「Active Listening 2」(第一学習社)

2 評価の観点、内容及び評価方法

(1) 学習状況は、以下の4つの観点から評価します。

観 点	内 容	評価方法
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション図ろうとしているか。	・ワークシート ・参加状況や態度 ・発表
外国語表現の能力 (話す・書く・音読する)	日常的话题について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、聞いたりして表現することができるか。	・ワークシート ・コミュニケーションテスト ・定期考査(ライティング)
理解の能力 (聞く・読む)	日常的话题について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手に伝えようとすることを理解することができるか。	・ワークシート ・レッスンテスト ・定期考査
言語や文化についての 知識・理解	日常的话题についての英語学習を通して、言語についてその知識を身に付けると共に、その背景にある文化などを理解しているか。	・ワークシート ・コミュニケーションテスト ・定期考査の表現問題

(2) 評価方法

- 各学期毎の定期考査 (50%)
- コミュニケーションテスト(パフォーマンステスト、ライティングテスト、スピーキングテスト) (30%)
- ワークシート、発表 (10%)
- 課題、宿題等 (10%)

3. 学習計画

学期	月	指導内容	配当時間	備考
1学期	4月	Unit 1	26	※ Active Listening Lesson 1 ～ 7 を合間に組み入れる。
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
	5月	3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
		4 Writing		
		5 Speaking		
	6月	Unit 2		
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	7月	4 Writing		
		5 Speaking		
2学期	9月	Unit 3	28	※ Active Listening Lesson 8～ 15 を合間に組み入れる。
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
	10月	3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
		4 Writing		
		5 Speaking		
		Unit 4		
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	11月	4 Writing		
		5 Speaking		
		Unit 5		
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	12月	4 Writing		
		5 Speaking		
3学期	1月	Unit 6	16	※ Active Listening Lesson 8～ 15 を合間に組み入れる。
		1 .Vocabulary		
		2 Practice 1: Listening Comprehension- Dialogue		
		3 Practice 2: Listening / Reading / Oral		
	2月	まとめ、復習		
			70	

(70)年間総時数